



## 2023年8月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年4月4日

上場会社名 ケイティケイ株式会社

上場取引所 東名

コード番号 3035 URL <https://www.ktk.gr.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 青山 英生

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役管理本部長兼グループ戦略本部長 (氏名) 葛西 裕之

TEL 052-931-1881

四半期報告書提出予定日 2023年4月5日

配当支払開始予定日

2023年4月27日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年8月期第2四半期の連結業績(2022年8月21日～2023年2月20日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年8月期第2四半期	8,639	4.1	190	27.3	251	24.6	154	15.3
2022年8月期第2四半期	8,297		149		201		133	

(注) 包括利益 2023年8月期第2四半期 186百万円 (51.8%) 2022年8月期第2四半期 122百万円 ( %)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年8月期第2四半期	28.49	
2022年8月期第2四半期	24.85	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年8月期第2四半期	8,577	3,740	43.6
2022年8月期	8,378	3,618	43.2

(参考) 自己資本 2023年8月期第2四半期 3,740百万円 2022年8月期 3,618百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年8月期		0.00		14.00	14.00
2023年8月期		7.50			
2023年8月期(予想)				7.50	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2023年8月期の連結業績予想(2022年8月21日～2023年8月20日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	17,600	2.3	430	6.4	520	3.6	325	3.1	60.11

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年8月期2Q	5,725,000 株	2022年8月期	5,725,000 株
期末自己株式数	2023年8月期2Q	297,866 株	2022年8月期	328,771 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年8月期2Q	5,406,642 株	2022年8月期2Q	5,376,924 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、本資料の発表日現在における入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因により予想数値と異なる結果となる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については四半期決算短信(添付資料)3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(2022年8月21日～2023年2月20日)におけるわが国経済は、ウィズコロナの下で、各種政策の効果もあって、緩やかに持ち直しの動きがみられたものの、世界的な金融引締め等が続く中、物価高騰や供給面での制約による影響が今後も懸念され、先行き不透明な事業環境が続いております。

このような環境の中、当社グループはビジョンである「Change the office mirai」の実現と中長期の成長を目指して策定した中期経営計画「Growth Plan」の2024年8月期までの計画を達成すべく、サプライ事業を基盤事業、ITソリューション事業を成長事業と位置づけ、グループ会社を挙げて重点施策を推進してまいりました。

当第2四半期連結累計期間においては、仕入原価や原材料費の高騰に対してすみやかな販売価格の改定を実施したこと、及び成長事業と位置付けるITソリューション事業が引き続き堅調に推移したことにより前年同四半期比で増収増益を達成しました。また、2022年8月期にグループ会社になった株式会社イコリスが展開するデジタルマーケティングを活かしたEC事業も売上・利益に大きく貢献しました。しかしながら、新型コロナウイルス感染症に関連する環境衛生商品の需要が大きく減退したことに加え、ペーパーレス化による製品需要量の減少があり、売上に影響しました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は8,639,187千円(前年同四半期比4.1%増)、営業利益は190,518千円(前年同四半期比27.3%増)、経常利益は251,065千円(前年同四半期比24.6%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は154,082千円(前年同四半期比15.3%増)となりました。

なお、当社連結子会社である株式会社青雲クラウンの業績は、多くの顧客の年度末及び年度始めにあたる当社第3四半期連結会計期間以降に売上高が多く計上されるという季節的変動があります。

セグメント別の業績は次の通りであります。

#### (サプライ事業)

新型コロナウイルス感染症の感染拡大傾向が落ち着き、環境衛生商品の需要が大きく減退したことが影響しました。

また、原材料費や仕入原価の高騰が続く中、すみやかな販売価格の改定に努めたことで物価高騰による影響は最小に抑えられたものの、ペーパーレス化の普及によるリサイクル製品市場全体の縮小が大きく影響しました。

これらの結果、売上高は6,912,731千円(前年同四半期比0.9%減)、セグメント利益は400,955千円(前年同四半期比8.4%増)となりました。

#### (ITソリューション事業)

2022年8月期の新設部署であるITソリューション事業部やグループ各社の売上・利益が引き続き伸長していることに加え、株式会社イコリスが展開するデジタルマーケティングを活かしたEC事業のさらなる成長が貢献しました。

これらの結果、売上高は1,726,456千円(前年同四半期比30.7%)、セグメント利益は79,967千円(前年同四半期比106.0%増)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ①資産、負債、純資産

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ198,812千円増加し、8,577,075千円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ195,916千円増加し、5,620,414千円となりました。これは、主に受取手形及び売掛金が154,740千円、商品及び製品が32,701千円増加したこと等によります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ2,895千円増加し、2,956,660千円となりました。これは、投資その他の資産が44,688千円増加し、有形固定資産が24,797千円、無形固定資産が16,994千円減少したことによります。

流動負債は、前連結会計年度末に比べ46,239千円増加し、4,347,858千円となりました。これは、主に支払手形及び買掛金が259,005千円増加し、電子記録債務が202,999千円減少したこと等によります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ30,779千円増加し、488,895千円となりました。これは、主に長期借入金が10,020千円増加したこと等によります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ121,792千円増加し、3,740,321千円となりました。これは、主に利益剰余金が78,535千円、その他の有価証券評価差額金が32,193千円増加したこと等によります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下、「資金」という)は、前連結会計年度末に比べ31,019千円増加し、1,899,445千円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は、102,843千円(前年同四半期は543,012千円の使用)となりました。収入の主な要因は、税金等調整前四半期純利益252,938千円であり、支出の主な要因は、売上債権の増加額154,668千円であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、41,279千円(前年同四半期は1,444千円の獲得)となりました。支出の主な要因は、投資有価証券の取得による支出28,118千円であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、30,544千円(前年同四半期は126,040千円の獲得)となりました。収入の要因は、短期借入金の純増額50,000千円、長期借入れによる収入50,000千円であり、支出の要因は、長期借入金の返済による支出54,974千円、配当金の支払額75,570千円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年8月期の業績予想につきましては、2022年10月3日に発表いたしました連結業績予想より変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年8月20日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年2月20日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,222,865	2,251,786
受取手形及び売掛金	2,453,828	2,608,568
商品及び製品	541,751	574,452
仕掛品	—	140
原材料及び貯蔵品	123,260	119,438
その他	83,872	66,249
貸倒引当金	△1,079	△221
流動資産合計	5,424,497	5,620,414
固定資産		
有形固定資産		
土地	1,150,441	1,150,441
その他(純額)	486,529	461,731
有形固定資産合計	1,636,971	1,612,173
無形固定資産		
のれん	287,894	264,365
その他	34,063	40,597
無形固定資産合計	321,957	304,963
投資その他の資産		
その他	995,203	1,039,822
貸倒引当金	△366	△298
投資その他の資産合計	994,836	1,039,524
固定資産合計	2,953,765	2,956,660
資産合計	8,378,262	8,577,075

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年8月20日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年2月20日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,411,387	1,670,392
電子記録債務	1,234,089	1,031,090
短期借入金	1,060,850	1,095,856
未払法人税等	101,990	96,082
賞与引当金	92,895	76,341
役員賞与引当金	24,670	—
その他	375,735	378,095
流動負債合計	4,301,618	4,347,858
固定負債		
長期借入金	76,730	86,750
役員退職慰労引当金	17,860	20,132
退職給付に係る負債	130,378	137,230
その他	233,146	244,783
固定負債合計	458,115	488,895
負債合計	4,759,734	4,836,753
純資産の部		
株主資本		
資本金	294,675	294,675
資本剰余金	664,649	664,355
利益剰余金	2,687,277	2,765,812
自己株式	△121,231	△109,873
株主資本合計	3,525,369	3,614,969
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	93,158	125,352
その他の包括利益累計額合計	93,158	125,352
純資産合計	3,618,528	3,740,321
負債純資産合計	8,378,262	8,577,075

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2021年8月21日 至2022年2月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自2022年8月21日 至2023年2月20日)
売上高	8,297,794	8,639,187
売上原価	6,556,757	6,656,845
売上総利益	1,741,036	1,982,341
販売費及び一般管理費	1,591,316	1,791,823
営業利益	149,719	190,518
営業外収益		
受取利息	144	95
受取配当金	10,595	13,401
仕入割引	18,753	22,582
受取家賃	20,711	24,308
その他	6,540	5,587
営業外収益合計	56,746	65,975
営業外費用		
支払利息	2,563	2,873
不動産管理費	1,977	2,108
その他	410	446
営業外費用合計	4,950	5,428
経常利益	201,514	251,065
特別利益		
保険解約益	—	1,301
投資有価証券売却益	130	571
特別利益合計	130	1,872
特別損失		
固定資産除却損	0	—
特別損失合計	0	—
税金等調整前四半期純利益	201,645	252,938
法人税、住民税及び事業税	62,466	95,642
法人税等調整額	5,541	3,213
法人税等合計	68,007	98,855
四半期純利益	133,637	154,082
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	133,637	154,082

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年8月21日 至 2022年2月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年8月21日 至 2023年2月20日)
四半期純利益	133,637	154,082
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△10,892	32,193
その他の包括利益合計	△10,892	32,193
四半期包括利益	122,745	186,276
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	122,745	186,276
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年8月21日 至 2022年2月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年8月21日 至 2023年2月20日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	201,645	252,938
減価償却費	36,809	37,186
のれん償却額	2,848	23,528
株式報酬費用	3,006	5,772
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△858	△926
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△58,576	2,271
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△22,060	△24,670
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△28,055	△16,553
受取利息及び受取配当金	△10,739	△13,497
支払利息	2,563	2,873
保険解約損益 (△は益)	—	△1,301
投資有価証券売却損益 (△は益)	△130	△571
売上債権の増減額 (△は増加)	△236,083	△154,668
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△26,253	△29,020
仕入債務の増減額 (△は減少)	△327,237	56,005
その他	18,712	45,554
小計	△444,410	184,922
利息及び配当金の受取額	10,739	13,497
利息の支払額	△2,569	△2,886
法人税等の支払額	△106,772	△92,690
営業活動によるキャッシュ・フロー	△543,012	102,843
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△5,901	△3,900
定期預金の払戻による収入	18,000	6,000
有形固定資産の取得による支出	△8,736	△11,791
無形固定資産の取得による支出	△11,825	△12,117
投資有価証券の取得による支出	△8,118	△28,118
投資有価証券の売却による収入	8,487	5,452
差入保証金の差入による支出	△12,197	△11,336
差入保証金の回収による収入	27,464	8,076
保険積立金の積立による支出	△3,689	△1,852
保険積立金の解約による収入	—	4,801
長期前払費用の取得による支出	△768	△655
その他	△1,270	4,163
投資活動によるキャッシュ・フロー	1,444	△41,279
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	200,000	50,000
長期借入れによる収入	100,000	50,000
長期借入金の返済による支出	△98,848	△54,974
配当金の支払額	△75,111	△75,570
財務活動によるキャッシュ・フロー	126,040	△30,544
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△415,528	31,019
現金及び現金同等物の期首残高	2,285,259	1,868,425
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,869,731	1,899,445

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

前第2四半期連結累計期間(自 2021年8月21日 至 2022年2月20日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額(注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	サプライ事業	ITソリューション事業	計		
売上高					
顧客との契約から生じる収益	6,977,268	1,320,525	8,297,794	—	8,297,794
外部顧客への売上高	6,977,268	1,320,525	8,297,794	—	8,297,794
セグメント間の内部売上高 又は振替高	78,383	91,273	169,656	△169,656	—
計	7,055,651	1,411,799	8,467,450	△169,656	8,297,794
セグメント利益	369,789	38,822	408,611	△258,892	149,719

(注)1 セグメント利益の調整額△258,892千円は、セグメント間取引消去5,670千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△264,562千円であります。

全社費用は、主に報告セグメントに帰属していない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間(自 2022年8月21日 至 2023年2月20日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額(注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	サプライ事業	ITソリューション事業	計		
売上高					
顧客との契約から生じる収益	6,912,731	1,726,456	8,639,187	—	8,639,187
外部顧客への売上高	6,912,731	1,726,456	8,639,187	—	8,639,187
セグメント間の内部売上高 又は振替高	122,428	61,694	184,123	△184,123	—
計	7,035,160	1,788,150	8,823,310	△184,123	8,639,187
セグメント利益	400,955	79,967	480,923	△290,404	190,518

(注)1 セグメント利益の調整額△290,404千円は、セグメント間取引消去12,706千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△303,110千円であります。

全社費用は、主に報告セグメントに帰属していない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。